

I 事業期間 2018 年 6 月 1 日 ～ 2019 年 5 月 31 日

II 事業の成果

1. 街路樹剪定枝葉の有効利用の推進

公園の緑化樹や街路樹などの剪定枝葉は毎年大量に焼却処分されている未利用資源ですが、剪定枝葉を分別せずに資源化する従来の方法では用途が限られるために需要が伸びないという問題があります。剪定枝葉を枝と葉に分別すれば、枝はそのままマルチング材に利用できるほか、パルプや木炭などの原料、バイオマス発電のための燃料として利用できます。一方、葉（生葉）は土壌改良材だけでなく、植物栽培用の培地にも利用できます。

当法人は継続的な技術指導、研究機関との共同研究や主要技術の特許化を推進するとともに、国土交通省や自治体、民間企業への技術の普及を図る活動を行っています。また、国道 43 号クスノキ街路樹の剪定枝を利用した「国道 43 号名刺」は当法人の役員のほか公益財団法人公害地域再生センター（あおぞら財団・大阪市西淀川区）などでも使われています。

これら一連の技術は 2006 年に国道 43 号の西宮市内の一部区間において試験導入され有効性が実証されたことから、尼崎～神戸間のすべてのクスノキを対象に本格導入される見込みでしたが、道路特定財源の使途見直しにより計画が中止になりました。その後、国土交通省

にて全国規模での適用が検討されていましたが、国の政権交代とともに立ち消えとなりました。さらに、大阪府吹田市においても導入が内定していましたが、市長の交代により延期された状態が続いています。また、ある大手住宅関連会社との業務提携による事業化も検討されました。いずれも技術的な価値とは関係のない理由で実現していませんが、当法人は粘り強く各所への働きかけを行っています。



国道43号エコ情報ニュース「よんさん」(2007年6月号)

[参考] 有限会社マッテル <http://matteru.com/>

2. 「高等独文解釈」のウェブサイト公開 <http://dgcbase.jp/deutsche/>

上級者向け独文読解のためのサイト「高等独文解釈」は大阪大学名誉教授（故人）が独文解釈用に収集した文章とその和訳の遺稿を試行的にウェブ公開するものです。この遺稿は当初は参考書として出版されるためにまとめられましたが、一般の学生にはやや難解であることから出版が見送られていました。しかし、当時とは異なり現在はインターネットを利用して手軽に発信できます。そこで、ウェブサイトにて試行的に 124 題を無料公開しました。ドイツ文学の学生のみならず一般の愛好家の方々にも広く読まれることを期待しています。

3. 電子ジャーナル「土壤植物栄養研究」 <http://dgcbase.jp/wjsspn/>

土壤・植物栄養分野の研究は、結果が得られるまでに年単位の時間を要することがよくあります。しかし、都道府県農業試験場では近年この分野の研究者が少なくなりつつあり、異動も常態化しているため、数年にわたる息の長い研究を行うことが難しくなっています。一方、継続的な研究ができるはずの大学では研究分野が細分化されて学際的で多様な議論の場が減り、地域に根ざした試験も実施しづらくなっているようです。この分野における地道な調査や研究の成果はこれまで農業生産や環境保全に大きく貢献してきましたが、今後もその重要性は揺るがないでしょう。

電子ジャーナル「土壤植物栄養研究」は、土壤・植物栄養分野の中でも生産現場に近い調査・研究情報を迅速かつ十分な精度で提供するために開設されました。今後も、農業試験場や大学の研究者が充実した成果を即座に発表するための場として活用され、さらに農業生産の向上や環境保全に生かされることを期待しています。

4. 近畿土壤医の会



設立記念講演(2019年3月8日)

「近畿土壤医の会」(会長：間藤徹・京都大学大学院教授)は全国各地域の「土壤医の会」と連携して、土づくりに関する知識や技術の維持・向上と指導力の一層の強化を図るため、近畿地域における会員相互の研鑽と交流を深めるとともに、会員の情報ネットワーク等を通じ現場の土づくりに関する課題解決力を高めていくことを目的としています。2018年11月19日に設立が認可され、翌年3月8日に京都大学にて設立総会が開かれました。当法人が事務局を担当しています。

[参考] 近畿土壤医の会

<https://www.facebook.com/pages/category/Agriculture/近畿土壤医の会-3181088641916511/>

http://www.japan-soil.net/doiken/info_area201904.pdf#page30

5. 会員による科学普及活動～内山代表理事編

2019年1月18日、八尾市内の花弁生産農家などを対象に「土壤の基礎知識と土づくりの大切さについて」講演しました。さらに同年5月23日には、南河内地域でいちご栽培を始める新規就農者を対象とした「いちごアカデミー」(実施主体：南河内いちごの楽園プロジェクト推進会議)の一講座として「いちご栽培における土づくり及び肥料の基礎知識」について講義しました。

また、大阪府立環境農林水産総合研究所農業大学校(羽曳野市尺度)における「土壤肥料」の講義を内山代表理事が担当しています。当期中に15回の講義を実施し、2020年2月までにさらに14回の講義を予定しています。

[参考] 「いちごアカデミー」の第2期生を募集します！(大阪府環境農林水産部)

http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/f_ichigoacademydai2.html

6. 会員による科学普及活動～森川理事編



カビの観察会

金沢文化振興財団主催「金沢ナイトミュージアム」は、文学、能、工芸など、金沢に点在する 17 の文化施設で夜 9 時までの夜間開館と多種多様なイベントを期間中の毎週末に開催する「文化的夜遊び」です。2018 年 7 月 21 日、徳田秋聲記念館（金沢市東山）において秋聲の代表作「黴」にちなんだ体験イベントが開かれ、森川理事が講師として出演しました。2016 年 7 月 29 日に開催されたトークイベント「黴を語る」に続き、今回は「黴を見る」と題したカビの観察会を行いました。2 人が同時に観察できる顕微鏡を用いて、センチウがセンチウ捕食菌による様々な形態の罨に捕まっている場面やアジサイの葉に斑点を作る様々な病原菌など、身近にいるが普段は気づかれないカビの生き活きとした姿を見てもらいました。

石川県政記念しいのき迎賓館（金沢市広坂）の新春企画展「和傘をめぐる OTOKOTACHI part4」（2019 年 1 月 6 日～14 日）は、金沢和傘と金沢仏壇を中心とした伝統工芸の実演に加え、一点ものの木工家具や能登ヒバを扱った新製品の展示など行うイベントです。その中で森川理事が「やっぱり黴（カビ）はいいね！」を担当。和傘に用いる和紙の繊維を顕微鏡で観察したり、小さな水引をオブジェクトとして入れた万華鏡や偏光板を用いた万華鏡を作成するワークショップを行いました。万華鏡の飾り付けには和傘用和紙の端切れを使ってもらうなど、伝統工芸という敷居をなくした親しみやすい展示会にしました。期間中 1,000 名を超える来場者がありました。

[参考] 金沢ナイトミュージアム 体験イベント「黴を見る」

<http://www.nightkanazawa.com/2018/07/post-279.php>

黴を見る 2018.7.22（徳田秋聲記念館「寸々語」より）

https://www.kanazawa-museum.jp/shusei/sunsungollog_2018.html

しいのき企画展「和傘をめぐる OTOKOTACHI part4」

<http://www.shiinoki-geihinkan.jp/event/index.cgi?mode=pickup&ctg=gly&cord=406>

https://www.facebook.com/和傘をめぐる_otokotachi-1188709451208554/

7. 研究者集団につながる窓口の運営 <http://dgcbase.jp/>

事務局やウェブサイトでは、学際的な共同研究、社学連携による研究開発やイベントの企画立案などについての問い合わせを随時受け付けています。研究者集団への相談窓口としての役割に留まらず、科学的で俯瞰的な現状認識に基づいたコンサルティングを行っています。

Ⅲ 事業の実施状況

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 産官学民連携推進事業（一般会計）

【内 容】 産官学民連携事業の企画および支援

【実施場所】 京都府、大阪府、インターネット

【実施日時】 随時

【対 象 者】 一般希望者

【収 入】 4,310 円

【支 出】 14,290 円

(2) 科学普及啓発事業（一般会計）

【内 容】 「高等独文解釈」のウェブサイト公開

【実施場所】 当法人事務局（豊中市曾根東町 1-5-13）

【実施日時】 常時

【対 象 者】 ドイツ文学の学生および一般愛好家

【収 入】 0 円

【支 出】 12,597 円

【内 容】 電子ジャーナル「土壌植物栄養研究」の運営

【実施場所】 当法人事務局（豊中市曾根東町 1-5-13）

【実施日時】 常時

【対 象 者】 土壌・植物栄養分野の研究者

【収 入】 0 円

【支 出】 12,597 円

【内 容】 「近畿土壌医の会」の事務局

【実施場所】 当法人事務局（豊中市曾根東町 1-5-13）

【実施日時】 随時

【対 象 者】 「近畿土壌医の会」会員

【収 入】 0 円

【支 出】 12,999 円

【内 容】 会員による科学普及活動～内山代表理事編（1）

【実施場所】 八尾市神立会館（大阪府八尾市神立 5-40）

【実施日時】 2019 年 1 月 18 日

【対 象 者】 八尾市内の花弁生産農家、農協、大阪府、八尾市の各関係者（約 50 名）

【収 入】 14,000 円

【支 出】 0 円

【内 容】 会員による科学普及活動～内山代表理事編（2）

【実施場所】 大阪府南河内府民センター（富田林市寿町 2-6-1）

【実施日時】 2019年5月23日

【対象者】 「いちごアカデミー」第2期受講生ほか（36名）

【収入】 13,770円

【支出】 0円

【内容】 会員による科学普及活動～内山代表理事編（3）

【実施場所】 大阪府立環境農林水産総合研究所農業大学校（羽曳野市尺度 442）

【実施日時】 2018年6月13日～2019年5月22日（計15回）

【対象者】 農業大学校受講者

【収入】 234,000円

【支出】 185,640円

【内容】 会員による科学普及活動～森川理事編

【実施場所】 徳田秋聲記念館（金沢市東山 1-19-1）、しいのき迎賓館（金沢市広坂 2-1-1）

【実施日時】 2018年7月21日、2019年1月6日～14日

【対象者】 一般来場者

【収入】 0円

【支出】 0円

IV 社員総会の開催状況

1. 定時総会

【開催日時】 2018年8月18日、16時～17時30分

【開催場所】 当法人事務局（豊中市曾根東町 1-5-13）

【出席者数】 正会員9名（正会員総数22名）

【議案】 第1号議案 2018年5月期事業報告及び活動決算の承認の件

【審議結果】 第1号議案は、満場異議無く承認可決した。

V 理事会その他の役員会の開催状況

1. 理事会

【開催日時】 2018年7月28日

【開催場所】 インターネット上（役員メーリングリスト上にて実施）

【出席者数】 理事3名（理事総数3名）、監事1名

【議案】 第1号議案 事業報告書案および決算報告書案の承認の件

【審議結果】 第1号議案は、満場異議なく原案通り承認した。

以上